

ダイアボンド DC6009

ダイアボンドDC6009は、木工・建材用としてタックが長く、しみ込みの少ない作業性の良いクロロプレングム系接着剤です。

§ 特長

1. タックが長く、しみ込みが少ないため、作業性に優れます。
2. 接着力が高く、初期接着性に優れます。
3. 耐水，耐老化，耐熱性に優れます。

§ 用途

1. 家具，サイジングボード，間仕切パネル，ドアなどのオーバーレイ，フラッシュばり，縁ばりの接着
 2. 建築内装仕上げ工事用として、化粧合板や新建材の壁，床，天井への接着
 3. その他 木材，金属，石材，ゴム，皮革の接着
- ☆ 被着材の組み合わせによっては、接着しにくいものがありますので、試験した上でご使用下さい。

§ 一般性状

主 成 分	クロロプレングム
外 観	黄褐色
不 揮 発 分 (%)	26.0 ± 1.5
粘 度 (mPa·s) at20℃	3,500 ~ 8,000
指触乾燥時間 (分) at20℃	2 ~ 4
粘着保持時間 (分) at20℃	40 ~ 60
保 証 期 間 (月) at25℃	6
引 火 点 (℃)	-17
発 火 点 (℃)	240

§ 使用方法

1. 前処理 被着材表面の水分やゴミ，油などを除去し，汚れのないよう清浄にします。
2. 塗布 刷毛などで被着材の両方に接着剤を均一に塗布します。
塗布量は，片面当り 150～250 g/m²（両面で 300～500 g/m²）塗布して下さい。
3. はり合せ 常温にて 10～30 分間乾燥してからはり合せます。
4. 加圧 はり合せ後，充分に加圧して接着します。

§ 接着性能

1. 接着強さ

	はく離接着強さ (N/25mm)		引張りせん断接着強さ (MPa)		
	鋼板／Can	NR／合板	合板／合板	MF／鋼板	
常 態	1 時間	20	32	0.6	0.6
	24 時間	30	40	1.5	1.1
	48 時間	42	47	1.8	1.4
	96 時間	50	50	2.5 *	1.7
熱老化 70℃×96 時間	63	54	2.5 *	1.7	
耐 熱 80℃	21	19	0.4	0.4	
耐 寒 -20℃	54	55	3.3 *	3.7	
耐 水 48 時間	60	32	1.1	0.8	

*：材質破壊 Can：綿帆布 NR：加硫天然ゴム MF：メラミン化粧板

試験方法：JIS K 6854，K 6850 に準ずる

2. 軟化温度

1 日 目	90 ～ 100 °C
5 日 目	110 ～ 120 °C
10 日 目	120 ～ 150 °C

試験方法：JIS K 6833 に準ずる

§ 注意事項

- ・ 保管中に分離することがありますので、使用前に全体が均一な層になるまで攪拌してご使用下さい。
- ・ 火気のあるところでは使用しないで下さい。
- ・ 取扱い作業場所には、局所排気装置を設けて下さい。
- ・ 取扱い作業中には、換気をよくし、蒸気を吸い込まないようにして下さい。
- ・ 取扱い中は、できるだけ皮膚にふれないようにし、必要に応じて有機ガス用防毒マスクまたは送気マスク、保護手袋、前掛けなどを着用して下さい。
- ・ 火災時には炭酸ガス、泡または粉末消火器を用いて下さい。
- ・ 目に入った場合には、多量の水で洗い、できるだけはやく医師の診察を受けて下さい。
- ・ 蒸気、ガスなどを吸い込んで、気分が悪くなった場合には、空気の清浄な場所で安静にし、医師の診察を受けて下さい。
- ・ 誤って飲み込んだ場合には、水で口の中を注ぎ、ただちに医師の診察を受けて下さい。
- ・ 皮膚に付着した場合は、すぐに付着物をふき取り、水と石けんでよく洗います。
- ・ 容器を密閉して、直射日光の当たらない場所で、5℃～35℃で保管して下さい。
- ・ 器具の洗浄にはトルエンをご使用下さい。
- ・ 容器からこぼれた場合には、布で拭きとって、密閉できる容器に回収して下さい。
- ・ 空容器は、中身を使いきってから廃棄して下さい。
- ・ 接着剤を廃棄する場合、産業廃棄物の許可を受けた専門業者に委託して下さい。
- ・ 子供の手の届かないところに保管して下さい。
- ・ 本来の用途以外には使用しないで下さい。
- ・ 消防法：第四類第一石油類（非水溶性液体）（危険等級Ⅱ）

☆ 上記の接着性能データは、当社実験室で得られた値ですので、接着剤選定の目安としてご使用下さい。環境条件や作業条件などにより、得られる値も変化しますので、より正確な接着性能を求めたい場合は、それぞれの用途に合わせて確認試験されることをお勧めします。